

## 2019年5月26日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

祈 禱

賛 美 聖歌653番「山はみどり」  
(山を見ても感謝)(清い手をあげ)

使徒信条

聖 書 ①ピリピ人への手紙 4章4~9節(p312)

②マタイによる福音書 9章18~26節(p13)

音 楽 宮田四郎兄(伴奏:佐久間美江姉)

証 詞 ①松井由希恵姉(エステル会)

メッセージ ①「喜びは、苦難よりも大きい」坪井永城副牧師

②「不可能への挑戦」大塚信頼牧師

賛 美 「したいまつる主の」(聖歌581番・献金)

頌 栄 「シャローム・シャローム」アーメン

祝 禱

ハープ・コンサート ラルゴ(小宮山裕子姉、宮林節子姉、工村ひろ子姉)

「娘よ、しっかりと祈いなさい。」

あなたの信仰があなたを救ったのです。」

(マタイ九の二十二)

### 【町田ニュース】

- ・ 今日ラルゴを迎えハープ演奏を聴けて、感謝です。
- ・ [国際飢餓対策への募金](#)は箱の中に。祝福をお祈りします。
- ・ 本日、9時より「[聖書入門講座2](#)」(1階食堂で)。全7回シリーズ。次回は「人間が尊く価値がある理由」について。どなたでも学ぶことができます。
- ・ 東京カルバリーは夕方5時。説教は小林師と大川師。
- ・ [早天祈禱会](#)は月曜～土曜朝6時。恵まれています。
- ・ 今週の祈禱会(月)は、水曜は森屋師、木曜は丸藤師、金曜は船山補教師。
- ・ 6月4日「ほっとママの会」、16日「父の日・バーベ Q」(大人 500 円、小人 250 円)、23日「[倉富氏&山中氏夢のコンサート](#)」(月)(チケット500円→節子姉)
- ・ [聖書通読に挑戦しましょう!](#) 通読者には表彰状。



## 畑の中の宝物

1 いくしみふかき ともなるイエスは、2 いくしみふかき ともなるイエスは、  
つみとがうれいを とりさりたもう。 われらのよわきを しりてあわれむ。  
こころのなげきを つつまずのべて、 なやみかなしみに しずめるときも、  
などかはおろさぬ、おえるおもにを。 いのりにこたえて なくさめたまわん。

「ふるさと」 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

1 うさぎおいし かのやま	2 いかにいます ちちはは
こぶなつりし かのかわ	つつがなしや ともがき
ゆめはいまも めぐりて	あめにかぜにつけても
わすれがたき ふるさと	おもいづる ふるさと

作詞家・高野辰之は、長野県下水内郡豊田村(現中野市)に生まれ、東京帝国大学で国文学を学び、1910年(明治43年)東京音楽学校(現東京芸術大学音楽学部)教授となっている。高野は、音楽学校で教鞭をとる傍ら文部省唱歌の編集委員(作詞)となってその選定にあたるとともに岡野貞一とコンビを組んで、今日まで歌い継がれる唱歌の名曲を作ったのであった。二人で作った歌は故郷、おぼろ月夜、春が来た、春の小川、春よ来い等など。

作曲家・岡野貞一(ていいち)は、鳥取県邑美郡古市村(現鳥取市)に生まれ、1895年(明治28年)東京音楽学校に入学、その後1923年(大正12年)同校教授となり、音楽教育指導者の育成に尽力した。1918年(大正7年)から、高野と同じく文部省唱歌の編集委員(作曲)となり、前述のように高野と組んで多くの唱歌を作った。また、岡野は熱心なクリスチャンであり、亡くなるまで約40年間にわたり、東京の本郷中央教会のオルガン演奏と聖歌隊の指導を行っていたというが、岡野の作曲した唱歌にどことなく讚美歌にも似た響きを感じる(「故郷」と讚美歌475はリズムが全く同じ)のも、彼の音楽的素養が影響しているのかもしれない。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース：ヨハネ10章～12章 Bコース：歴代志上17章～下6章